

1. 科目名 (単位数)	幼児理解 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2212 JNCS2405						
2. 授業担当教員	鈴木 美子								
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>幼児期の保育は、幼児一人ひとりの発達の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うことが重要です。本科目では、幼児一人ひとりの行動や内面の理解、発達を適切に把握できるよう、実践事例（文献、映像）等を用いて、幼児の生活の実際とその理解、具体的な指導のとらえと意味、幼児期の保育における環境のとらえ方、評価の在り方、幼小の連携、並びに行事について学びます。</p>								
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育は環境を通して行うものであることが理解できるようになる。 ・ 保育者の役割をあげ、説明することができるようになる。 ・ 幼児期の保育における評価について説明することができるようになる。 ・ 幼小の学びの関連性が分かるようになる。 ・ 行事の意味が分かり、日常の保育との関係を説明することができるようになる。 								
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>宿題：必要に応じて次回の授業に関するプリントを渡します。記入箇所に記載し、自分の考えをまとめ、文章化した上で各回の授業（ディスカッション）に臨んで下さい。ディスカッションを充実させることにつながります。</p> <p>レポート：課題を授業中に提示します。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】小田豊編著『幼児教育の方法』北大路書房。 幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーバル館</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育及び幼児理解の基本を理解しているか。 2. 幼児期の発達が理解できたか。 3. 保育者の役割を理解し、保育者の姿勢を意識して捉えてようとしているか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、グループワークで協働する態度、提出物、理解度を総合して評価する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1 受講態度</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>2 小テストによる理解度</td> <td style="text-align: right;">40%</td> </tr> <tr> <td>3 提出物</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> </table>			1 受講態度	30%	2 小テストによる理解度	40%	3 提出物	30%
1 受講態度	30%								
2 小テストによる理解度	40%								
3 提出物	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>大人になってきている自分を、もう一度振り返って、幼児期の自分の心や眼差しを思い起こしながら、子どもの目線になって幼児理解を試みてみましょう。</p> <p>実践事例を通して、具体的に捉え考えることの積み重ねによって幼児理解を確かなものへと構築していきましょう。</p>								
13. オフィスアワー	別途通知します。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	授業概要、授業計画、保育とは	事前学習	幼稚園教育要領解説とポイントを読んでおく。						
		事後学習	幼児期の発達の特徴をまとめる。						
第2回	環境を通して行う保育（その1） —子どもにとっての環境の意味—	事前学習	プリントを読み必要箇所に記入しておく。						
		事後学習	環境の意味をまとめる。						
第3回	環境を通して行う保育（その2） —保育者の役割—	事前学習	プリントを読み必要箇所に記入しておく。						
		事後学習	保育者の役割をまとめる。						
第4回	環境を通して行う保育（その3） —友だちという存在—	事前学習	プリントを読み必要箇所に記入しておく。						
		事後学習	友だちの存在についてまとめる。						
第5回	実践事例の映像から —環境に関わって遊びを展開する子どもの姿を具体的に捉える—	事前学習	プリントを読んで課題を考えてまとめておく。						
		事後学習	事例をもとに環境の意味を具体的にまとめる						
第6回	実践事例の映像から —保育者の援助を具体的に捉える—	事前学習	プリントを読んでおく。						
		事後学習	事例をもとに、保育者の援助を具体的に捉えその意味を文章化する						
第7回	保育の評価	事前学習	プリントを読んで空欄に適切な文章を記入しておく。						
		事後学習	反省評価についてまとめる						
第8回	連携を生かした保育 —保育における連携とは—	事前学習	プリントの必要箇所に記入しておく。						
		事後学習	保育における連携についてまとめる。						
第9回	連携を生かした保育 —保育場面と小学校以降の学びの関連性を捉える—	事前学習	プリントの必要箇所に記入しておく。						
		事後学習	幼児期における学びの芽生えとそれ以降の学習との関連をまとめる						
第10回	行事を生かした保育 —保育における行事の意味—	事前学習	プリントを読んでおく。						
		事後学習	幼稚園教育要領解説とポイントの該当箇所を読み、行事の意味をまとめる						
第11回	行事を生かした保育 —運動会の実践事例から—	事前学習	運動会について、幼児期の体験をまとめておく。						
		事後学習	映像の中の、幼児の具体的な姿を文章化し、日常の保育とのつながりを捉える。						
第12回	3歳児の保育	事前学習	プリントを読んでおく。						
		事後学習	3歳児の発達と保育についてワークシートを仕上げ理解する。						
第13回	4歳児の保育	事前学習	プリントを読んでおく。						

		事後学習	4歳児の発達と保育についてワークシートを仕上げ理解する。
第14回	5歳児の保育	事前学習	プリントを読んでおく。
		事後学習	4歳児の発達と保育についてワークシートを仕上げ理解する。
第15回	まとめ	事前学習	本授業の要点や課題を整理しておく。
		事後学習	本授業を通して学んだことを振り返り、各課題に関するポイントを文章化する
期末試験			